

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年11月10日
【四半期会計期間】	第60期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	株式会社サンゲツ
【英訳名】	SANGETSU CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 日比賢昭
【本店の所在の場所】	名古屋市西区幅下一丁目4番1号
【電話番号】	052(564)3331
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 上原健
【最寄りの連絡場所】	名古屋市西区幅下一丁目4番1号
【電話番号】	052(564)3331
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 上原健
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社名古屋証券取引所 （名古屋市中区栄三丁目8番20号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第59期 第2四半期 連結累計期間	第60期 第2四半期 連結累計期間	第59期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(百万円)	53,030	55,127	112,118
経常利益(百万円)	2,660	2,867	7,530
四半期(当期)純利益(百万円)	1,417	1,694	4,242
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,112	1,687	3,955
純資産額(百万円)	116,747	118,267	118,084
総資産額(百万円)	134,133	137,256	138,908
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	35.33	42.23	105.75
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	87.0	86.2	85.0
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	2,160	2,517	4,437
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	1,500	996	7,320
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	1,524	1,523	3,041
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	20,556	17,046	15,519

回次	第59期 第2四半期 連結会計期間	第60期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年9月30日	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	24.02	23.48

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第59期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間の経済環境は、東日本大震災後の復興、企業の生産活動の正常化が力強く続けられる一方で、欧州各国の財政問題など不安定な海外情勢や急激な円高の進行による企業収益の悪化により、先行き不透明な状況が続いております。

住宅市場では、新設住宅着工戸数が4月から9月までの半年累計で前年比6.1%増となり、底固い回復傾向にあります。

このような状況の中、当社グループは環境に配慮し、良品廉価を貫くとともに、非住宅市場やリフォーム市場などの深耕開拓、販路の拡大などによるきめ細かな営業活動を展開し、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高55,127百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益3,130百万円（同25.4%増）、経常利益2,867百万円（同7.8%増）、四半期純利益1,694百万円（同19.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(インテリア事業)

インテリア事業では、大阪ショールームを8年ぶりに全面リニューアルし、さらに夢のあるインテリアづくりに関与していただけることをめざしました。

壁装材については、4月に中間価格帯の商品を収録した見本帳「ファイン1000」を改訂し、キズに強いウレタンコート壁紙、人気のディズニーキャラクター壁紙などの新商品を収録して自由な空間づくりの選択肢をさらに広げました。

カーテンについては、4月に教育、医療、福祉施設、また宿泊施設などの各種施設でも安心して使用できる全点難燃商品の見本帳「コントラクトカーテン vol.7」を発行しました。また、5月には「椅子張総合見本 vol.6」、9月にはオーダーカーテンの見本帳「ソレイユ ドゥ」を発行し、多様化するニーズに応える豊富な商品バリエーションを収録して販売に努めました。

床材については、7月に「フロアタイル」の新見本帳を発行し、主として商業施設等の非住宅用途で好評を博しました。同見本帳では塩ビタイル独自の豊かなデザイン性と優れたメンテナンス性、耐久性などのクオリティに加え、環境配慮やリフォーム物件での使いやすさにも重点を置いた商品を収録しました。

これらのほか、既発行の見本帳収録商品の拡販にも努めた結果、インテリア事業における売上高は47,583百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は2,911百万円（同13.3%増）となりました。

(エクステリア事業)

エクステリア事業を担う株式会社サングリーンでは、企業間競争の激化などにより厳しい状況が続いておりますが、販売促進キャンペーンの拡大など地道な営業活動を積み重ねております。

エクステリア事業における売上高は5,425百万円(前年同期比2.9%減)、営業利益は、のれんの償却が前連結会計年度で終了したことなどにより75百万円(同177.6%増)となりました。

なお、株式会社サングリーンは、平成23年3月に子会社化していた株式会社八千代商事を10月1日付にて吸収合併することを決め、経営資源の集中による効率化やシナジー効果で収益性の追求を図るとともに、新たなユーザーニーズの開拓に繋げ、更なる成長をめざしています。

(照明器具事業)

照明器具事業においても厳しい環境が続いておりますが、山田照明株式会社は、節電対策商品の需要の高まりを受け、主として可動式アームスタンド「Zライト」などLED照明の売上が伸長した結果、売上高は2,122百万円(前年同期比43.0%増)、営業利益は142百万円(前年同期は営業損失99百万円)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,526百万円増加し、17,046百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2,517百万円(前年同期は2,160百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,859百万円による収入などがあったことを反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は996百万円(前年同期は1,500百万円の使用)となりました。これは主に、投資有価証券の期限償還額と取得による支出との差額収入989百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,523百万円(前年同期は1,524百万円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払額1,504百万円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費は、58百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	159,000,000
計	159,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	40,188,240	40,188,240	東京証券取引所 名古屋証券取引所 各市場第一部	単元株式数 100株
計	40,188,240	40,188,240		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高 (百万円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	-	40,188	-	13,616	-	20,005

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
ノーザン トラスト カンパニー (エイブイエフシー) サブ アカ ウント アメリカン クライアン ト (常任代理人 香港上海銀行東京 支店)	50 BANK STREET CANARY WHARF LONDON E14 5NT UK (東京都中央区日本橋三丁目11番1号)	4,024	10.01
ノーザン トラスト カンパニー (エイブイエフシー) リ ユーエ ス タックス エグゼンプテド ペ ンション ファンズ (常任代理人 香港上海銀行東京 支店)	50 BANK STREET CANARY WHARF LONDON E14 5NT UK (東京都中央区日本橋三丁目11番1号)	2,099	5.22
日比恭平	名古屋市東区	2,006	4.99
日比喜博	名古屋市瑞穂区	1,786	4.44
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	1,485	3.69
ザ シルチェスター インターナ ショナル インベスターズ イン ターナショナル バリュウ エクイティー トラスト (常任代理人 香港上海銀行東京 支店)	C/O SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INC, 780 THIRD AVENUE, 42ND FLOOR, NEW YORK, NEW YORK 10017, USA (東京都中央区日本橋三丁目11番1号)	1,308	3.25
日比祐市	名古屋市昭和区	1,202	2.99
日比茂雄	名古屋市瑞穂区	1,191	2.96
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号	1,041	2.59
株式会社大垣共立銀行 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行株式会社)	岐阜県大垣市郭町三丁目98番地 (東京都中央区晴海一丁目8番12号)	1,032	2.56
計		17,178	42.74

(注) 1. シルチェスター・パートナーズ・リミテッド(旧名称シルチェスター・インターナショナル・インベ
スターズ・リミテッド)から、平成22年11月8日付で提出された大量保有報告書(変更報告書)により、
共同保有分を含めて平成22年11月1日現在で7,862千株を保有している旨の報告を受けております。この
ため、シルチェスター・パートナーズ・リミテッドは、同日現在では主要株主となっておりますが、当社と
して当第2四半期会計期間末時点における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況に
は含めておりません。

なお、シルチェスター・パートナーズ・リミテッドの大量保有報告書(変更報告書)の内容は以下のと
おりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等 の数 (株)	株券等保有 割合 (%)
シルチェスター・パート ナーズ・リミテッド	英国ロンドン ダブリュー1ジェイ 6ティ エル, プルトン ストリート1, タイム アン ド ライフ ビル5階	0	0
シルチェスター・インター ナショナル・インベスター ズ・エルエルビー	英国ロンドン ダブリュー1ジェイ 6ティ エル, プルトン ストリート1, タイム アン ド ライフ ビル5階	7,862,900	19.57
計		7,862,900	19.57

2. 日比祐市氏から、平成23年10月6日付で提出された大量保有報告書（変更報告書）により、共同保有分を含めて平成23年9月21日現在で1,252千株（3.12% 平成23年9月21日現在）を保有している旨の報告を受けております。
3. 日比恭平氏から、平成22年3月31日付で提出された大量保有報告書（変更報告書）により、共同保有分を含めて平成22年3月26日現在で2,097千株（5.22% 平成22年3月26日現在）を保有している旨の報告を受けております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

			平成23年9月30日現在
区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	
議決権制限株式(その他)	-	-	
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 65,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 40,095,200	400,952	
単元未満株式	普通株式 27,840		
発行済株式総数	40,188,240		
総株主の議決権		400,952	

(注) 「完全議決権株式(自己株式等)」は、全て当社所有の自己株式であります。

【自己株式等】

						平成23年9月30日現在
所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)	
株式会社サンゲツ	名古屋市西区幅下一丁目4番1号	65,200	-	65,200	0.16	
計		65,200	-	65,200	0.16	

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,201	22,788
受取手形及び売掛金	38,477	35,629
有価証券	25,021	24,009
商品及び製品	7,056	7,876
原材料及び貯蔵品	1,248	1,595
その他	1,125	984
貸倒引当金	191	175
流動資産合計	94,939	92,708
固定資産		
有形固定資産		
土地	19,609	19,648
その他(純額)	8,588	8,409
有形固定資産合計	28,198	28,058
無形固定資産		
その他	511	429
無形固定資産合計	511	429
投資その他の資産		
投資有価証券	3,252	3,279
その他	12,710	13,504
貸倒引当金	703	723
投資その他の資産合計	15,259	16,060
固定資産合計	43,969	44,548
資産合計	138,908	137,256

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,045	10,933
1年内返済予定の長期借入金	21	20
未払法人税等	1,940	1,186
賞与引当金	895	891
災害損失引当金	164	-
その他	2,049	2,102
流動負債合計	17,116	15,133
固定負債		
長期借入金	162	151
退職給付引当金	2,180	2,304
役員退職慰労引当金	69	71
長期未払金	952	941
その他	342	386
固定負債合計	3,707	3,855
負債合計	20,823	18,989
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,616	13,616
資本剰余金	20,005	20,005
利益剰余金	84,207	84,396
自己株式	122	122
株主資本合計	117,707	117,896
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	377	370
その他の包括利益累計額合計	377	370
純資産合計	118,084	118,267
負債純資産合計	138,908	137,256

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	53,030	55,127
売上原価	37,368	39,092
売上総利益	15,661	16,035
販売費及び一般管理費	13,165	12,904
営業利益	2,496	3,130
営業外収益		
受取利息	25	25
受取配当金	32	26
不動産賃貸料	60	60
その他	108	101
営業外収益合計	226	213
営業外費用		
支払利息	1	1
不動産賃貸費用	6	5
為替差損	51	462
その他	1	7
営業外費用合計	61	476
経常利益	2,660	2,867
特別利益		
固定資産売却益	1	-
投資有価証券売却益	1	-
特別利益合計	2	-
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	56	1
投資有価証券評価損	46	4
その他	0	1
特別損失合計	104	8
税金等調整前四半期純利益	2,558	2,859
法人税、住民税及び事業税	1,085	1,150
法人税等調整額	56	14
法人税等合計	1,141	1,164
少数株主損益調整前四半期純利益	1,417	1,694
四半期純利益	1,417	1,694

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,417	1,694
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	304	7
その他の包括利益合計	304	7
四半期包括利益	1,112	1,687
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,112	1,687

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,558	2,859
減価償却費	652	577
のれん償却額	78	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	14	4
災害損失引当金の増減額(は減少)	-	164
受取利息及び受取配当金	57	52
支払利息	1	1
為替差損益(は益)	40	462
売上債権の増減額(は増加)	2,424	2,848
たな卸資産の増減額(は増加)	820	1,167
仕入債務の増減額(は減少)	1,010	1,112
その他	122	13
小計	3,730	4,270
利息及び配当金の受取額	125	82
利息の支払額	2	2
法人税等の支払額	1,693	1,833
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,160	2,517
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	3,372	5,481
定期預金の払戻による収入	3,121	6,421
有形固定資産の取得による支出	137	150
無形固定資産の取得による支出	48	29
投資有価証券の取得による支出	9,130	8,510
投資有価証券の償還による収入	8,000	9,500
保険積立金の積立による支出	716	748
保険積立金の解約による収入	456	-
差入保証金の回収による収入	339	5
その他	12	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,500	996
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	10	11
配当金の支払額	1,506	1,504
その他	7	7
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,524	1,523
現金及び現金同等物に係る換算差額	40	462
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	904	1,526
現金及び現金同等物の期首残高	21,460	15,519
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,556	17,046

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
1 保証債務 連結会社以外の会社の金融機関からの借入に対し、 債務保証を行っております。 (株)コウン 31百万円	1 保証債務 連結会社以外の会社の金融機関からの借入に対し、 債務保証を行っております。 (株)コウン 17百万円
2 受取手形割引高 137百万円	2 受取手形割引高 107百万円

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は 次のとおりであります。 荷造運搬費 2,545百万円 見本帳費 1,245 貸倒引当金繰入額 37 給料及び手当 3,327 賞与引当金繰入額 859 退職給付費用 238	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は 次のとおりであります。 荷造運搬費 2,629百万円 見本帳費 1,168 貸倒引当金繰入額 43 給料及び手当 3,415 賞与引当金繰入額 891 退職給付費用 304

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸 借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在) 現金及び預金勘定 23,928百万円 預入期間が3ヶ月を超える定期 3,371 預金 現金及び現金同等物 <u>20,556</u>	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸 借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年9月30日現在) 現金及び預金勘定 22,788百万円 預入期間が3ヶ月を超える定期 5,742 預金 現金及び現金同等物 <u>17,046</u>

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月24日 定時株主総会	普通株式	1,504	37.50	平成22年3月31日	平成22年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年10月28日 取締役会	普通株式	1,504	37.50	平成22年9月30日	平成22年12月1日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	1,504	37.50	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月2日 取締役会	普通株式	1,504	37.50	平成23年9月30日	平成23年12月1日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	インテリア 事業	エクステリア 事業	照明器具事業	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	45,967	5,585	1,477	-	53,030
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	6	6	-
計	45,967	5,585	1,483	6	53,030
セグメント利益又は損失()	2,569	27	99	1	2,496

(注)1.セグメント利益又は損失()の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2.セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	インテリア 事業	エクステリア 事業	照明器具事業	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	47,583	5,422	2,122	-	55,127
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	3	0	3	-
計	47,583	5,425	2,122	3	55,127
セグメント利益	2,911	75	142	0	3,130

(注)1.セグメント利益の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
1 株当たり四半期純利益金額	35円33銭	42円23銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (百万円)	1,417	1,694
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 (百万円)	1,417	1,694
普通株式の期中平均株式数 (千株)	40,123	40,123

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成23年11月 2 日開催の取締役会において、当事業年度 (平成23年 4 月 1 日から平成24年 3 月31日まで) の中間配当を行うことを決議いたしました。

中間配当による配当金の総額 1,504百万円

1 株当たりの金額 37円50銭

支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成23年12月 1 日

(注) 平成23年 9 月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月4日

株式会社サンゲツ
取締役会御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松井夏樹 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 服部一利 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンゲツの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンゲツ及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。